

学校は楽しいところ

学校は仲間と学ぶところ

学校は社会の当たり前を学ぶところ

以前、福井県に視察研修に行ったことがあります。福井県は、全国学力・学習状況調査はもちろんのこと、体力を示す全国調査において、いつも上位を占めている県です。視察研修も全国から来られるようで、来られたか方から「どうしたら全国上位の学力をつけることができるのでしょうか。」という質問が多くあるようです。先生方から返ってくる答えはシンプルでした。「当たり前のことを、当たり前に行っているだけです。特別なことは何もしていません。」

福井県には永平寺というお寺があります。そこの町の中学校の生徒は校門に来ると、自転車を降りヘルメットをとって礼をして校門をくぐります。帰るときも同じです。そうじも誰もしゃべりません。黙々と床を磨きます。休憩時間は、中学生らしく友達とはしゃぎ、元気な話し声が聞こえます。しかし、学習が始まる5分前チャイムが鳴ると、空気がガラッと変わり、学習の準備をして先生が来られるのを黙って待っています。子どもたちの姿を見て福井という地域の子育てや教育に対する考え方に学ぶことも多いと感じました。

上に書いたタイトルは、子どもたちにもよく言っている言葉です。毎日学校を楽しみに登校し、仲間と学び合い、友だちとのかかわりの中で、人として大事なことは何かを学んでいく。当たり前のことをしっかり習慣化することが小学校の役割だと思っています。そのためには私たち教師が、しっかりとした教育理念を持ち、日々研鑽に努め、子どもたちと向き合わねばと思っています



テストにがんばっています

1月21日から24日まで、NRTと言って全国の小学生が受ける標準テストを実施しています。それぞれの学年で身に付けなければならない学習内容が身につけているのか確かめるためのテストです。普段のテストとは違い、問題量も多く、じっくり考えなければならない問題も多くあります。

3学期はまとめの学期です。テストや単元ごとの復習やまとめの学習が多くなります。それぞれの学年で身につけなければならない内容をしっかり身につけ次の学年へと進級してほしいと思います。

子どもたちにとってNRTテストは、楽しいものではないかもしれませんが、力を出し切ってほしいです。保護者の皆さんからも、励ましの言葉をお願いします。